

地域福祉のための情報誌

江別市社協だより

幸せな社会

2025年
4月号
[No.217]



みんなで支えあう福祉の地域づくり

を目標とする社協の第5期地域福祉実践計画を作成しました

今号の表紙

江別市社会福祉協議会第5期地域福祉実践計画(案)を答申

計画策定部会 藤田部会長(写真右)、松井副部会長(写真中央)から計画(案)を工藤会長(写真左)へ

(関連記事P.4)

もくじ

- P 2. 3 令和7年度 社協の「事業計画と予算」
- P 4 第5期地域福祉実践計画 / ワークキャンプ / シエスタの開催
- P 5 江別市版中間的就労の取り組み
- P 6 地域貢献・社会貢献のカタチ / 寄付者掲載
- P 7 社協からのお知らせ
- P 8 ボランティア情報掲示板

社協の「事業計画と予算」

今年度は、第5期地域福祉実践計画（関連記事 P. 4 参照）の開始年度となります。
以下、令和7年度の事業計画の概要について掲載します。

※注：広報記事作成段階においては、社協理事会及び評議員会の議決前であることから、「事業計画と予算」は案として掲載しています。

事業推進方針

少子高齢化や核家族化に伴う家庭・家族の介護力の低下、更には住民相互のつながりの希薄化などにより、生活・福祉課題は複雑・多様化しています。

暮らしに不安を抱える方が多くなっている現状においては、地域に暮らす人々が地域の課題を自らのこととして受け止め、住み慣れた地域で共に支え合いながら一人ひとりが安心して生活できる地域づくりが求められており、すべての人々が地域でつながりを持ちながら安心して生活を送ることができる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが必要です。

令和7年度は、第4期地域福祉実践計画をもとに実践した事業の成果や課題の検証を通して、社会福祉協議会が持つ役割や機能をより一層充実させ、地域社会や福祉の動向を見極めながら、市民、行政、関係機関・団体などと連携・協働して、計画の基本目標である『みんなで支えあう福祉の地域づくり』を目指して各事業に取り組みます。

令和7年度の主な事業と予算

令和7年度実施予定の市民向けサービスは33事業となり、これらの事業を実施するための資金収支予算は約3億5千857万円となります。このうち、主な事業と予算についてお知らせします。

基本計画1 地域福祉に関する情報提供



令和7年4月号(今号)から誌面をリニューアルしました。今後も読みやすい誌面づくりに努めます。

事業名	事業内容	予算
社協だより「幸せな社会」発行及びホームページの運営	事業・サービスに対する市民の声や身近な地域活動等について広報する。(社協だよりは年4回自治会の協力を得て配布または公共施設等に設置)	6,338,000 円

基本計画2 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

事業名	事業内容	予算
愛のふれあい交流事業の実施（愛のふれあい活動、地域交流の集い活動への助成）	ボランティアグループを編成して、ひとり暮らし高齢者等への声かけ活動や、閉じこもりを予防のための交流活動を行う自治会を支援する。	8,118,000 円
生活支援体制整備事業の実施（通いの場支援等）	生活支援コーディネーターを配置し、市民による様々な福祉活動の実態把握や活動支援を行う。	6,776,000 円



愛のふれあい交流事業（地域交流の集い活動）でバス等を使用する際の交通費助成上限額を、30,000円から40,000円に変更しました。



基本計画 3 ボランティア活動で進める地域支援

事業名	事業内容	予算
ボランティアセンター・ボランティア団体連絡会の運営	ボランティア活動の相談・登録・活動先紹介、活動保険の加入促進、登録ボランティア団体への活動費の助成、活動内容の広報、活動に対する交通費の助成等を行う。	5,841,000 円
悩みごとに関する相談支援	ボランティア団体による電話相談を行う。	

基本計画 4 包括的な相談・支援事業の実施

事業名	事業内容	予算
生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンターえべつ）の実施	自立に向けた相談支援、就労支援対策、生きがい支援、ひきこもり当事者対策等を行う。	22,887,000 円
江別市成年後見支援センター（中核機関）の運営	成年後見制度に関する相談支援、成年後見制度の普及啓発、市民後見人の育成・支援を行う。	18,673,000 円



くらしサポートセンターえべつでは、引きこもり当事者及びその家族を対象に、「居場所シエスタ」を今年も開催します。（関連記事P. 4 参照）



基本計画 5 安心した生活を支援する福祉サービスの実施

事業名	事業内容	予算
福祉除雪サービスの実施	玄関前等の置き雪を除雪専用車で置き換える作業を行う。（有料。年齢、障がい等級、非課税世帯等の対象条件あり）	53,463,000 円
除雪派遣サービスの実施	作業員が玄関から道路までの通路の除雪を行う。（有料。年齢、障がい等級、非課税世帯等の対象条件あり）	5,052,000 円
給食サービスの実施	栄養バランスのとれた夕食を宅配するとともに安否確認を行う。（1食 650 円。高齢者世帯等向け）	34,574,000 円



除雪派遣サービス事業では作業員を募集しています。玄関から公道までの通路を 90cm 程度の幅で除雪する作業で、作業報酬は 1 回あたり 1,450 円（令和 6 年度実績）です。



基本計画 6 学びの機会の提供による福祉意識の醸成

事業名	事業内容	予算
地域福祉活動者研修会の開催	自治会関係者等を対象に、高齢者への支援事業・制度についての講演や情報提供及び意見交換等ができる場として開催する。	173,000 円
いきいきシニアスクールの開催	身近な生活・健康上の話題をテーマとして、高齢期の生きがいづくりや地域との関わりについて考える機会として開催する。	
体験学習事業の実施	福祉施設・学校等の協力を得て、高齢者や障がいのある方と交流できる機会や活動体験を提供する。	



高齢者向けや地域向けには、自身の健康、地域づくり等に関する研修会を、高校生等の若年世代向けには、福祉への関心を持ってもらうこと等を目的とした研修会を行います。



第5期地域福祉実践計画を策定

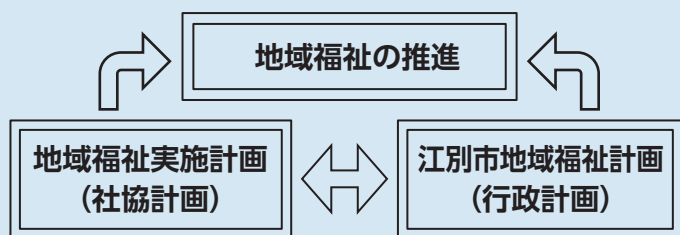
基本目標

「みんなで支えあう福祉の地域づくり」

地域福祉実践計画とは…

社協が「地域福祉の推進役」として、市民・ボランティア・福祉団体等の皆様、市や関係機関と連携を図りながら、福祉課題に取り組む体制づくりや具体的なサービス内容を明確にするものです。

第1期計画が平成17年度からスタートし、令和6年度までの4期20年間、計画内容を着実に実行することにより培ってきた地域福祉の基盤整備を更に確かなものとしていきます。



第5期の計画期間は、令和7年度から11年度までの5年間。基本目標としている「みんなで支えあう福祉の地域づくり」の実現に向け7つの基本計画を設定し具体的に45の実践事業に取り組みます。

社協だより「幸せな社会」リニューアルしました！

平成7年7月号からA4版に、平成22年7月号から誌面をカラーにするなど、構成やデザインを変更しながら、見やすい誌面づくりに取り組んでまいりました。

今号からは左開きにし、読みやすく、保存しやすい（綴りやすい）形に変更しました。

引き続きご覧ください！



平成7年4月号。B5版10ページでの構成でした。

冬休みワークキャンプの開催結果

R7.1.9開催

高校生を対象に、友愛ナーシングホーム、静苑ホームの協力を得て開催しました。参加者は、実際に福祉の現場を「見て、知って、感じる」機会として貴重な体験になりました。

●開催内容

高齢者疑似体験、介護体験やリハビリ体験、レクリエーション活動参加、提供される食事形態の説明、配膳等



体験中

予告 令和7年度 ひきこもり当事者・家族会「居場所シエスタ」開催

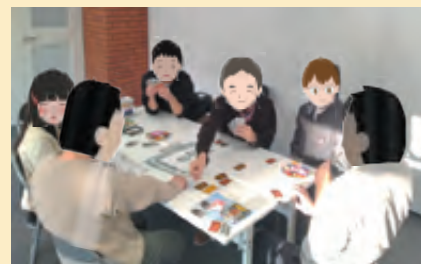
- ・参加無料！
- ・事前予約不要！
- ・途中退出OK！

お気軽にご参加ください！

くらしサポートセンターえべつでは、様々な事情によって生活が行き詰まってしまっている人、周囲のサポートを受けられずに困っている人などから相談を受け付け、それぞれの状況に合わせて支援を行っています。

昨年度に引き続き、ひきこもり当事者・親の会「居場所シエスタ」を開催します。

前半は、ひきこもり経験のあるピア・スタッフから体験談を聞くことができ、後半は当事者とご家族に分かれて自由に語り合う時間を設けており、それぞれが交流できる場となっています。



第1回

5月27日(火)

14:00～16:00

会場：江別市総合社会福祉センター

第2回

7月24日(木)

13:30～15:30

会場：市民交流施設
ぷらっと

第3回

9月20日(土)

14:00～16:00

会場：江別市総合社会福祉センター

第4回

11月28日(金)

14:00～16:00

会場：江別市総合社会福祉センター

第5回

1月29日(木)

13:30～15:30

会場：市民交流施設
ぷらっと

第6回

3月24日(火)

14:00～16:00

会場：江別市総合社会福祉センター

詳細については決まり次第ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



くらしサポート
センターとは

くらしサポートセンターえべつ 江別市版中間的就労の取り組み



自立へ向けた第一歩！ 地域で支える就労支援

感謝

この取り組みは企業のご理解、
ご協力で成り立っています。



中間的就労とは・・・

参加者が支援を受けながら軽作業等に従事するというもので、雇用契約の締結はしないものの、一定の作業料が支払われます。

労働と福祉のあいだに位置することから、中間的就労と呼ばれています。

就労経験がなくても大丈夫

くらしサポートセンターえべつでは、2019年度より「しごとラボ江別（江別市版中間的就労）」を福祉センターの一室で実施しています。

しごとラボ江別の主な対象者は、就労経験がなく働きたくても自信がない、就労経験はあるが長いブランクがある、集団の中で活動したことがなく、コミュニケーションに不安がある等の変なさを抱えている方です。

しごとラボ江別は、自動車の整備・解体業等を行う企業である株式会社北翔様からご依頼いただいた「銅線の分解」作業から始まりました。これは自動車の銅線ケーブルについているプラスチック部品等をニッパーで取り除く作業で、自分のペースで行うことができます。個人作業が基本ですが、作業が早く終わった方が、まだ終わっていない方に声をかけ手伝うなどの姿も見られるなど、参加者同士の自然なコミュニケーションが生まれていました。



作業現場には くらサポ相談支援員が

同行し、安心して働けるようサポートします

市内でリサイクル事業を行う角山開発株式会社様からご依頼いただき「パソコンやモデムなどのOA機器の分解」作業も実施しています。具体的には、ドライバーでOA機器のネジを外していき、分解して部品ごとに分けていく作業です。この作業は実際に会社の作業場所を使用させていただくという特徴があります。実際の現場の中で作業させてもらうことにより、参加者の方の仕事に対するイメージが明確化されることや、わからないことがあれば、社員の方に聞くことができる環境となっており、しごとラボ江別の中でも、他の作業を行って慣れた後のステップアップの場として適した作業となります。

他にも、松浦写真技研様から「撮影した写真のデータ入力や封入」作業、自然卵のクレープ南円山様から「商品を入れる紙袋に店のスタンプを押す」作業を依頼いただき行っています。

三方よし！
を目指します

くらサポ

企業

参加者

しごとラボ江別の就労支援 参加からみえる効果

- 人の役に立つという感覚を持つことで、参加者の自信がつき表情がいきいきとしたり、自己肯定感や意欲の向上につながる効果も！
- 就労支援の場としてだけでなく、リフレッシュできて、他の参加者と交流できる「居場所」的な役割も！
- 参加者の中には生まれて初めて仕事の報酬を受け取る人もおり、それで自分の趣味のものを買うことで、それまで感じる事のなかった「もっと買いたい、あれも欲しい」という気持ちにつながり、就労に対して前向きになれる！
- 一般就労や福祉的就労に繋がるステップアップの場に！



地域貢献・ 社会貢献 のカタチ

善意のカタチ色々
ご浄財で...
物品で...
マンパワーで...

ご寄付いただいた皆様、
ありがとうございました!



←北海道コカ・コーラリテール
&ベンディング株式会社様(飲料)



角山開発株式会社様(食料品)



カーブス様(食料品)

※フードドライブ運動から
↓フードドライブとは



一般財団法人北海道信用金庫
ひまわり財団様

●社協活動の趣旨に、ご賛同いただいた方 からのご寄付(ご寄贈)

期間: 令和6年12月~令和7年2月
(敬称略・順不同)

寄付 江別美術協会(22,700円)、一般財団法人
北海道信用金庫ひまわり財団(100,000円)、江別
友の会(20,000円)、疋田芳松(5,000円)、川口
雅弘(10,000円)、野菜の駅(株)ふれあいファーム
しのつ(30,000円)、江別フォークダンスサー
クル(36,488円)

寄贈 北海道コカ・コーラリテール&ベンディング
株式会社、角山開発株式会社、カーブス

紙・事務用品・オフィス家具
OA機器・学校教材

(有) **ガク**

江別市高砂町10番地(市役所横)
電話代382-2553・FAX385-7878

損害保険・生命保険代理業



商号: 有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00~18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

0120-74-0433

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷(株)内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)ア・ノ研究社	笹岡印刷(株)	(株)のっぽろ印刷
	(有)トラスティプリント	藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷
	アスカ印刷	〈賛助会員〉(有)くらしの新聞社	

ボランティア団体による悩みごとと電話相談

社協登録ボランティア団体の
相談員が悩みごとをお聞きします。

【相談無料】 ☎011-389-7830

おしらせ

相談日	相談時間	相談内容	担当団体名
火曜日(毎週)	10:00～15:00	▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
水曜日(第2・4)	10:00～14:30	▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
木曜日(毎週)	10:00～15:00	▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
金曜日(第1・3・5)	10:00～14:30	▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

ボランティア 活動保険のご案内



社協では、令和7年度分の加入受付をしています。

【加入対象】

ボランティア活動に取り組む個人など

【補償内容】

活動中のボランティア自身のケガ及び他人の物を壊したり怪我をさせたことによる損害賠償責任を補償します

【補償期間】

加入申込完了翌日から令和8年3月31日まで

【保険料】

1名あたり(年間)

◎基本プラン 350円

◎天災・地震補償プラン 500円

※補償内容・補償金額はホームページ(「ふくしの保険」で検索)



給食サービスのご案内

栄養バランスのとれた夕食(週1回以上)をお届けします。高齢者世帯や障がい者世帯などを対象としています。ご利用は社協までお問い合わせ下さい。

4月から
1食 650円



総合社会福祉センター 4月～6月の開館・休館

●開館

- ・月曜日(9～17時)
- ・火曜日～日曜日(9～21時)
- ※月曜日が祝日の場合は休館です

✕休館

5月5日(月)

医) 英生会 野幌病院

JR野幌駅前
TEL382-3483

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のっぽろ	TEL 381-1133
老健のっぽろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談室 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のっぽろ	TEL 381-7877
訪問看護ステーション のっぽろ	TEL 381-1133
訪問看護ステーション のっぽろ	TEL 381-1133
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』 受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに
“頑張る人”を応援致します

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局

〒069-0832
江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所	
特別養護老人ホーム えぞりすの杜	☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	☎391-9111
ショートステイくまげら	☎391-9111
小規模保育施設 ふくろうの森	☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス	☎384-2280
小規模保育施設 あかとんぼの森	☎398-9234

合同会社 萬屋本舗 Ks

- 引っ越しお手伝い
- お掃除(窓ふき等)
- 草刈り・草取り

代表社員 亀田谷 大輔
江別市緑町西1丁目25-1
TEL 080-9615-9364

■不用品回収(古物商許可 第101050000959号)

※作業内容は一部ですのお気軽にご相談下さい

株式会社 三樹

就労継続支援B型事業所

スマイル・ミー

あなたの「働きたい」を応援します。

通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある障害のある方に対し、生産活動などの提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行います。

お問い合わせ、ご相談はお気軽にどうぞ!

江別市大麻園町 30 番地の 5 TEL: 011-807-5326

Email: wj-smileme@cc.wakwak.com

ボランティア情報掲示板

ボランティア団体の紹介、
「通いの場」の紹介やその
関連情報を掲載します。



市民の皆様へ

生活支援コーディネーター より



活動日時：毎月第1(自主練習)、第2、第4土曜日
13時00分～

活動場所：大麻公民館 研修室

連絡先：080-1974-6818(大久保さん)
Ycpmk940@yahoo.co.jp

ボランティア団体紹介

大麻ベーネアンサンブル

「大麻ベーネ・アンサンブル」は2008年から活動を始めた、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ及びコントラバスの演奏者約20名で構成する弦楽合奏団です。年に一度、えぼあホールを会場に定期演奏会の開催を主な活動としています。

活動はそれのみならず、依頼により“出前”でお年寄りの福祉施設への慰問や町内会の催事などへ弦楽合奏をお届けしています。

弦楽合奏と言っても、堅苦しいクラシック音楽ばかりではありません。季節の唱歌などを参加者の声に合わせて演奏したり、その場に応じて喜んでいただく選曲に心がけ、中に軽いお馴染みのクラシックや普段親しむことのない楽器の音色を紹介するなど趣向を凝らして、楽しんで聴いていただいております。

参加者に楽しんでいただくと同時に演奏者自身が皆様が喜んでいただくことで、逆に励ましを受けることがやりがいになっております。少しでも多くの機会を通して楽しい、美しい音楽をお届けしたいと祈念しております。是非お声かけをお待ちしております。

この場をお借りし、楽団も団員の減少高齢化が進まざるを得ない状況にあります。初心者も歓迎いたします。楽団への参加希望者のご連絡もお待ちしています。

「通いの場」関連情報

「江別市内“通いの場”情報誌」をご活用ください！

社協では、趣味や関心のあることを通して気軽に集える「通いの場」（サークルや団体の活動）を一覧にした冊子を発行しています。市内約180か所の活動をご紹介します。あなたに合った通いの場がきっとあります。社会福祉協議会窓口のほか、市役所介護保険課や市内の公民館等公共施設で、無料で配布しています。ぜひご覧ください。

雪もとけて暖かくなり、出かけやすい季節になりました。春は新しいことに挑戦するチャンス！健康のために何か始めたいと思っている方、自宅でひとりだけの趣味としてもものづくりに取り組んでいる方も、共通の趣味や目的をもった同志の方々との出会いに一歩踏み出してみませんか？



編集後記

新しい年度を迎え、異動や転勤、入学や卒業など慌ただしくお過ごしの方も多いのではないのでしょうか。今年の冬は、例年に比べて雪も少なく厳しい冬を無事過ごすことができましたと思います。

今号は、第5期地域福祉実践計画に基づく「令和7年度社協の事業計画と予算」の概要や、社協からのお知らせ等が掲載されています。

また、今号から左開きにリニューアルし、より読みやすく充実した内容で情報の提供に心がけてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



広報編集委員会委員
田尾 和夫

発行 社会福祉法人 江別市社会福祉協議会



江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 FAX 011-385-1236
ホームページ <https://www.ebetsu-shyakyo.jp>
メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

くらしサポートセンターえべつ

☎ 011-375-8987

メール kurasapo@ebetsu-shyakyo.jp

江別市成年後見支援センター

☎ 011-375-8988

メール kouken@ebetsu-shyakyo.jp

「幸せな社会」は社協ホームページ上で音声によりお聞きいただけます。点字版やCD(音声)版もあります。(社協事務局内)